CHIIKI OKOSHI KYORYOKU TIMES

地域おこし協力隊通信

八巻枝美 編

第50回

7月の夜空といえば、きっと多くの方が七夕を思い浮かべるのではないでしょうか。

天の川を隔てて会うことができなくなった織姫と彦星が年に一度、7月7日の夜にだけ会うことができるというロマンチックな星物語。

実はこの七夕、本来は月の動きを基準にした旧暦に基づいて行われていたもので、旧暦の七夕、つまり伝統的七夕はこれから！　今年は8月7日です。

旧暦は月の満ち欠けを基準にした暦なので、新暦に当てると毎年日付が変わります。新暦の7月7日は梅雨真っただ中の日本列島ですが、梅雨が終わった8月なら、きれいな夜空が見られる確率も上がりますね。

能代市街地では天の川を見つけるのは難しいかもしれませんが、少し離れた郊外へ行くと、きれいな天の川を見ることができます。ぜひこの機会に夜空を眺めてみてください！

▲能代市鳥形地区で撮影した天の川

協力隊の活動状況はFacebookで公開中！　https://www.facebook.com/noshirokyoryokutai/

問合せ　市民活力推進課☎89-2212

このコーナーでは、まちの元気さんを紹介します。

能代のちから

No.89

新店舗オープンで商店街に元気を

鮮魚 惣菜 髙橋商店

代表 髙橋（たかはし） 大樹（ひろき）さん（43歳）

●どんなお店ですか？

祖父の代から続く魚屋です。能代市や八峰町で揚がった魚介をはじめ、惣菜や野菜、果物、菓子などを販売しています。売れ筋は刺身。盛りの良さには自信があります。

7月4日、前店舗の斜め向かいに新店舗をオープンしました。店内が広くなり、より買い物がしやすくなりました。看板には、今でも「佐太郎さんの店」と親しまれる祖父の名前を大きく掲げました。

●オープンの経緯は？

私が中学生くらいの時、この商店街は反対側に渡れないほど人や車でにぎわっていました。しかし今では閉店する店が増え、寂しくなりました。

道の駅ふたついができたことで観光客が増えましたが、その人たちが商店街に足を運んだ時にがっかりさせたくない。商店街を活性化する一つのきっかけになればと思い新店舗建設に踏み切りました。

「佐太郎」の文字が目を引く新店舗

●新店舗の特徴は？

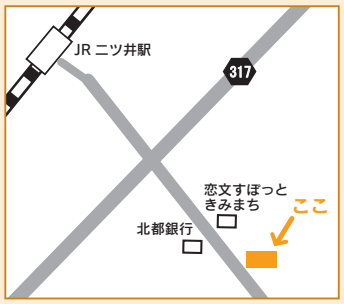
こだわりは入り口横の窓。魚を豪快にさばく調理場の内部が見られるよう作りました。

調理場と販売スペースの間にも窓を設置。作業中でもお客さんと会話できるようにするためです。お客さんとの会話はとても大切。さまざまなニーズを直接聞けますから。それらに応えるうちに店に置く商品がここまで増えました。

●今後の抱負をお願いします

新店舗で頑張るこの店に刺激を受けて「私も」と奮起してくれる店が増えたらうれしいです。

道の駅の来館者数も100万人に到達しました。観光客の0・1%でもいいから商店街に来てもらいたい。そのために商店街の魅力をこれからもPRしていきます。



鮮魚 惣菜 髙橋商店
（二ツ井町字下野家後120-5）
☎73-2958　ファクス 73-6655